

共生・協働の農村づくり運動

～人と自然と地域が支え合う みんなで創る農村社会～

むらづくり通信

VOL.13

地域資源を生かしたむらづくり～錦江町宿利原地区



地区住民で企画・運営
「大根やぐらライトアップイベント」



農業体験ツアーを支援（大根の収穫）

県では、農村の活性化を目指し「農村集落の再生」「新たなむらづくりの形成」「むらづくりの維持・発展」を図るため、地域の資源を活用し、NPOや都市住民など地域外の活力も取り入れた「共生・協働の農村（むら）づくり運動」を推進しています。



鹿児島県農政部農村振興課

祝

令和元年度 豊かなむらづくり全国表彰事業
農林水産大臣賞 受賞
宿利原地区公民館（錦江町）

～地域資源を生かした持続力あるむらづくりを実践～



表彰式（令和元年12月10日、熊本地方合同庁舎）
右が笑喜公民館長

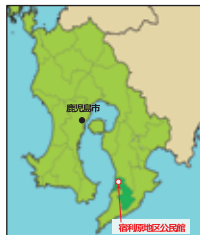
宿利原地区の概要

- ①総人口 449人
- ②総世帯数 241戸
- ③農家戸数 68戸
- ④主要作物等 加工用大根
さつまいも

※ ①はH31年時、②③はH27年時



集落住民集合（むらづくり現地審査時）



●住民と多様な主体とが連携し、地域資源を生かした農業振興、都市農村交流、教育支援等地域ぐるみのむらづくりを実践しています。この取組が評価され、農林水産大臣賞を受賞しました。



加工用大根の品質向上を図りながら、
地域ぐるみで産地を維持



基本構想作成に向け、課題を整理、
方向性を検討



地域の魅力を情報発信（大根を題材にした絵本を制作・販売）



大学等と連携した寺子屋塾を開設、
特色ある取組を展開



女性部等による、廃校を活用したマルシェ
を開催、来場者、参加店舗数ともに増加



大根やぐらイベント（11回目）には、
県内外から1400人ほどが来場

平成 30 年度共生・協働の農村づくり運動表彰事業

県では、むらづくり活動に積極的に取り組んでいる地区等を表彰しています。受賞地区の活動内容の詳細については、県ホームページに掲載しています。

- 平成 30 年度は、農村集落部門が 2 地区、支援団体部門が 1 地区、表彰されました。

【農村集落部門】	高田村づくり委員会（南九州市）
	柗野区公民館（さつま町）
【支援団体部門】	特定非営利活動法人 TAMASU(大和村)



表彰式：令和元年 5 月 23 日

農村集落部門



高田村づくり委員会



柗野区公民館



特定非営利活動法人 TAMASU

高田村づくり委員会（南九州市）

40 年以上前から話し合いによるむらづくり活動を実践。集落営農組織である農事組合法人「土里夢たかた」を中心に、大学などの多様な主体と連携した取組や都市農村交流など、農業振興と一体となった活動を展開しています。

主な取組

- 地域と集落営農法人が一体となった活動を実践
- 小学校と連携した農業体験学習の支援による食育活動の実施
- 水稻や大豆などのオーナー制度による地域内外のファンづくり
- 閉山した高田石切場を活用した観光地づくり（国際彫刻シンポジウムの開催等）
- 地元のそばを振る舞う食堂の開業（女性の活躍の場）



米・大豆づくりオーナー制度



農業体験学習の支援による食育活動
（さつまいもの植付）

柗野区公民館（さつま町）

子どもから高齢者まで一緒になって開催する「ひがん花まつり」などの都市農村交流活動の取組を中心として、地域特産物を活用した加工品の開発、伝統芸能の継承など集落が一体となって取り組んでいます。

主な取組

- 地域資源のひがん花を活用した都市農村交流活動を実践
- 郷土料理「みそびら（煮しめ）」や地域伝統行事「仏飯講（隠れ念仏）」を伝承
- 後継者の確保や担い手への農地集積のために基盤整備を実施
- 集落全体で一体となった鳥獣被害防止対策を実践



郷土料理（みそびら）の伝承



小学生によるひがん花祭りの観光ガイド

支援団体部門

特定非営利活動法人TAMASU(大和村)

集落の青壮年団（20～60代）が中心となり、「祖先から受け継いだ自然や文化、コミュニティなどの地域の宝を守り伝え、島に関わる全ての人が分かち合える環境をつくる」ことを目的にH27年3月に設立しました。

主な取組

- 住民の得意分野を生かした農作業体験メニュー等のプログラムを構築
- 若者・高齢者などの全ての年代やU・Iターン者が活躍できる場を提供
- 地域の将来像を住民で共有するなど、住民一体となった活動を実践
- 地域資源であるフクギの植樹やタイワンヤマツツジの再生など景観保全活動を展開



タイワンヤマツツジ保全のための植樹活動



地域住民との意見交換
（ワークショップの開催）

農村集落部門推薦地区の紹介

田代自治公民館（日置市）

- 集落営農組織を法人化（H23: 農事組合法人田代ビレッジ）
- 水土里サークル活動組織と連携した環境保全活動を展開
- 昭和 50 年代から引き継がれる集落の「農村振興大会」を開催
- 1 ターン者や保育園と連携した取組を展開
- 集落ぐるみで鳥獣被害防止対策を実施



子どもたちと一緒に花壇づくり

永池地区むらづくり推進委員会（伊佐市）

- 集落全農家が参加する集落営農組織を設立（H12）し、「エコファーム永池」として法人化（H18）、若者の雇用の受け皿となり、地域外からの定住を促進
- 地域住民が学校運営に参画するコミュニティ・スクール制度を導入



農地を守り、おいしい米づくり

七村集落（曾於市）

- 集落営農組合、水土里サークル活動組織、ボランティア組織が連携したむらづくり活動を実施
- 耕作放棄地の解消に取り組むため、「七村の田んぼを守る会」を発足（H19）
- 担い手による農作業受託を推進するため、「七村地区集落営農組合」を設立（H27）
- 地域に伝わる伝統芸能「太鼓踊り」の保存活動を実施



地域営農の今後について検討

中割地区（西之表市）

- 閉校となった小学校跡地を地区の交流拠点施設として活用
- 地元の農産物や加工品を販売する「こうのみね祭」の開催により、都市農村交流を促進
- 荒廃農地を活用したしょうがの生産・加工・販売を実施
- しょうがの加工場を地区住民の交流の場として活用



多くの人で賑わう「こうのみね祭」

令和元年度 かごしま農村創生塾の紹介

県では、農村集落におけるリーダーの育成や集落間のネットワーク形成に向けた研修会を開催しています。

第1回 将来の人口予測からムラを考える（令和元年8月29日～30日）

- 講演 「田園回帰1%戦略～農村に人と仕事を取り戻す～」
 - ・講師 （一社）持続可能な地域社会総合研究所
所長 藤山 浩 氏
 - ・主な内容
暮らしに必要なものを自分たちの地域で生み出し、地域内で経済を循環させる。
- 演習等
 - ・ 地域の人口の現状分析と将来の人口を推測
 - ・ 定住や交流人口増へ向けて、地域経済を循環させるための体制づくり、受け皿づくりをどうするかなど具体的な取組を検討し、相互に発表



地域の人口の安定化へ向けた「シナリオ」完成

第2回 むらづくり研修会～地域資源を生かす～（令和元年11月26日）

- 講演 「村が無くなっても村はある！
～逆境から未来を拓く あば村の課題解決活動～」
 - ・講師 あば村運営協議会（岡山県津山市）
事務局長 皆木 憲吾 氏
 - ・主な内容
住民自治による持続可能な地域運営を目指し、施設の複合化や連携による収益性の向上を図り、地域住民へ生活支援を実施
- 事例紹介
 - ① 柘野区公民館（さつま町）
 - ② 特定非営利活動法人TAMASU（大和村）



岡山県あば村運営協議会の取組



パネルディスカッション

第3回 地域の取組事例に学ぶ（令和2年1月23日～1月24日）

- 講演「大地とともに心を耕せ！
～地域資源を生かしたエコロジカルなむらづくり～」
 - ・講師 株式会社地域法人 無茶々園（愛媛県西予市）
常務取締役 宇都宮 広 氏
 - ・主な内容
有機農業の先駆けとして、柑橘の栽培体系を確立し、産直販売や6次産業化、生産管理など完成度の高いアグリビジネスを展開
- 現地事例調査
 - ① 宿利原地区公民館（錦江町）
 - ② 早馬集落営農組合（南大隅町）



早馬地区～トイモガらほ場

～ 塾生の声 ～

- ・自分の地域を見直すきっかけになった。
- ・今後の課題や将来像が明確になった。



令和元年度「かごしま農村創生塾」参加地区の概要

勝目地域営農組合山田農援隊（南九州市）

- 水土里サークル活動を中心に、農地・集落環境保全活動を実施。
- 農作業受託等を通じた効率的な農業経営と集落環境づくりのため、集落営農組織（勝目地域営農組合山田農援隊）を設立（H31.3）。
- 集落営農組織は、大豆、そばを中心に生産。そばは、収穫後、そば祭りを開催し、そば打ち体験など、都市農村交流を促進。
- 農作物の生産だけではなく、加工・販売の取組を計画中。



地域の農業、集落環境を守る仕組みづくり



農作業受託等で地域農業を維持

二渡活動組織（さつま町）

- 水土里サークル活動を中心に、農地・集落環境保全活動を実施（R元～）。
- 地区内の直売所「せせらぎの里二渡」は、地区の交流拠点の場、農作物を出荷する高齢者等の生きがいづくりにもつながっている。
- ほたる舟との連携による「二渡区ホタルを観る夕べ」を開催し、地域内外の住民との交流につなげている。
- 小中学生とともに地域の伝統芸能「太鼓踊り」の保存に取り組んでいる。



「ほたる舟」を地区で盛り上げる



伝統芸能「太鼓踊り」の保存

中津川区公民館（さつま町）

- 400年の歴史がある伝統芸能「金吾様おどり」の継承活動を地区住民全体で展開。
- 地区青年組織は農作業支援や地域の環境整備活動、女性部組織は地域行事の企画・運営に参画。
- 「なかって朝市」の開催による地域内外の交流促進と高齢者の生きがいづくりを实践。
- 地域の原材料を用いたオリジナル焼酎を製造・販売し自主財源を確保。
- 平成30年度農林水産祭むらづくり部門で日本農林漁業振興会会長賞（天皇杯等三賞）を受賞。



地域で守る伝統芸能



女性も活躍、踊りの陣羽織作り

※田代自治公民館は、農村集落部門推薦地区（4ページ）で紹介

烏帽子前牟田環境保全協議会（東串良町）

- 水土里サークル活動組織として、農地・集落環境保全に取り組んでいる。活動を広げるため小学生の参画を計画中。
- 地域活性化に向けて、収穫祭を企画し、地域で生産された米を使った餅つき大会などを実施。
- 住民自らが集落を知るため、地区の大塚神社・古墳の学習会を開催。



農地・集落環境保全



収穫祭を企画

種子島・伊関農泊推進協議会（西之表市）

- 種子島・伊関農泊推進協議会を発足し、地域の魅力を伝えるため、地域資源を守り、地域資源を知る勉強会を開催。
- 地区の自然や農業、伝統技術など地域特性を生かした体験プログラムによる交流を実践中。
- 小中学生を対象とした体験型教育旅行の受入、大学留学生を対象とした受入も実施し、地域を紹介。
- 地区の「沖ヶ浜田黒糖生産協働組合」は、若手移住者を組合員として受入れるなど、伝統ある黒糖づくりを次世代へ伝承する取組を展開。



地域資源を守り、次世代へ
継承する取組



知名環境保全隊，知名町地域おこし協力隊（知名町）

- 水土里サークル活動組織として、農地・集落環境保全活動を展開。
- 集落と多様な主体（地域おこし協力隊、JA 青年部、ホテル等）が連携し、島ならではの花木約 30 種類を植栽し、1年を通して花の香りが漂う住民等の憩いの場となるよう公園を整備（環境省主催の企画コンテストで大臣賞を受賞）



人と農地を語る会

むらづくり通信 第13号（令和2年3月発行）

編集・発行：鹿児島県農政部農村振興課

〒890-8577 鹿児島県鹿児島市鴨池新町10-1

TEL：099-286-3108(直通)

鹿児島県ホームページ

<http://www.pref.kagoshima.jp/sangyo-rodo/nogyo/noson/mura/index.html>

「産業・労働→食・農業→農村振興→むらづくり→共生・協働のむらづくり通信」